



令和8年度 村上市立岩船小学校 グランドデザイン



教育目標：深く考え 優しく思いやり たくましくやりぬく子

目指す学校像：全ての子どもたちが安心して、
自分の力を伸ばすことのできる学校

知育 「学ぶ楽しさ」や「分かる喜び」を実現
【重点目標】 感じ、主体的に学び続ける子ども

- ◎意欲を引き出す課題設定、「対話のある」協働的な学習、自己の変容や学びの価値を自覚させる振り返りによる「子どもが主役の授業づくり」
- ・基礎・基本の確実な定着と、学び直しができる学習環境の設定
- ◎タイムマネジメントの向上による、主体的な家庭学習習慣の定着

徳育 自分に自信をもち、相手を思いやり
【重点目標】 主体的に行動できる子ども

- ◎人との関わりをとおした自己有用感の育成と、自他を大切にできる温かな人間関係づくり
- ・コミュニケーション力の基礎となる「あいさつ」「聴く力」の向上
- ◎「いじめをしない、許さない、命を大切にする」意識の醸成、丁寧な見取りと連携によるいじめの未然防止と早期発見、即時対応

体育 心身の健康に目を向け、基本的な生活習慣を身に付けた子ども
【重点目標】 生活習慣を身に付けた子ども

- ◎ 運動が好きになる体育授業や運動がしたくなる環境づくり
- ◎ 「運動・栄養・睡眠」など、心身の健康への関心の向上を図る学習や活動の充実
- ・家庭と連携した基本的な生活習慣（起床・就寝時刻、学習時間以外の娯楽メディア時間）の自己管理能力の向上

特別支援教育の充実

- ・困り感のある子どもへの支援の充実
- ・全教職員の共通理解に基づいた支援
- ・家庭、関係機関、医療機関との連携

岩船の特色を生かした教育活動の充実

- ・岩船の文化・歴史・よさなどを学ぶ活動の充実
- ・学校運営協議会と連携した地域人材・資源の活用
- ・新しい時代に合った教育活動の見直し・改善

保・小・中の連携の強化

- ・架け橋期プログラムに基づいた、保・小の「連携」「接続」
- ・小中学校の課題の共有と、課題解決に向けての協働的な取組

岩船小学校の教育の基盤 = 学校運営協議会 + 郷育（家庭・地域・企業・関連機関との連携）